

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	地理B	
科目基礎情報							
科目番号	0011		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	機械工学科		対象学年	1			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	戸井田克己ほか(2022)『高等学校 新地理総合』帝国書院/帝国書院編集部編(2022)『新詳高等地図』帝国書院						
担当教員	小谷 俊博,武長 玄次郎,高石 憲明						
到達目標							
アジア全体を宗教、民族、言語の側面から把握するとともに、各国（東南アジア、韓国、中国）の社会、文化について詳しく知る。ASEANについて理解を深める。学修単位であり、事前事後学習の課題は授業中に連絡する							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目 1	ある問題について十分な理解度に達しており、自分で判断し、積極的に意見を述べることができる。		ある問題について一定の知識はあるが、ごく標準的な理解度にとどまっている。		ある問題について知識が不足しており、それゆえ標準的な理解度に達していない。		
評価項目 2	ある問題を他の幾つかの問題とむすびつけることができ、多角的な思考ができる。		ある問題を他の幾つかの問題とむすびつけることができる。		ある問題を他の問題と結びつけることができない。		
評価項目 3	ある問題の解決策に関する知識が十分にあり、かつ自分の考えを進めることができ、アイデアを提出できる。		ある問題の解決策に関する知識はあるが、自分の考えをあまり進めることができない。		ある問題を他の問題と結びつけることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程 1(2)							
教育方法等							
概要	宗教、民族、言語について詳しく説明する。各国の社会、文化では、時事問題も積極的に取り上げる。						
授業の進め方・方法	講義を中心に授業を進めていくが、学生の積極的な参加を促すために、発表、討論、グループ活動なども随時取り入れる予定である。教材は教科書、地図帳、配布プリントのほか、雑誌、新聞、インターネットの記事なども用いる。また、この科目は学修単位科目のため、授業90分に対して、教科書や配付プリントなどで予習・復習を合わせて180分以上行うこと。						
注意点	時事問題を頻繁に取り上げるため、普段から新聞、テレビ、インターネットにより社会的ニュースに接しておくことが望ましい。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	アフリカ（2）		アフリカの社会、文化を理解する。		
		2週	ヨーロッパ（1）		ヨーロッパの社会、文化を理解する。		
		3週	ヨーロッパ（2）		ヨーロッパの社会、文化を理解する。		
		4週	ヨーロッパ（3）		ヨーロッパの社会、文化を理解する。		
		5週	ヨーロッパ（4）		ヨーロッパの社会、文化を理解する。		
		6週	ヨーロッパ（5）		ヨーロッパの社会、文化を理解する。		
		7週	ロシア		ロシアの社会、文化を理解する。		
		8週	（中間試験）				
	4thQ	9週	アングロアメリカ（1）		北アメリカの社会、文化を理解する。		
		10週	アングロアメリカ（2）		北アメリカの社会、文化を理解する。		
		11週	ラテンアメリカ（1）		南アメリカ地域の社会、文化を理解する。		
		12週	ラテンアメリカ（2）		南アメリカ地域の社会、文化を理解する。		
		13週	ラテンアメリカ（3）		南アメリカ地域の社会、文化を理解する。		
		14週	オセアニア（1）		オセアニアの社会、文化を理解する。		
		15週	オセアニア（2）		オセアニアの社会、文化を理解する。		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	30	0	0	0	0	0	30